

科学技術教育アドバイザー制度

科学技術・学術政策局人材政策課
令和 8 年 8 月21日

科学技術教育アドバイザー制度

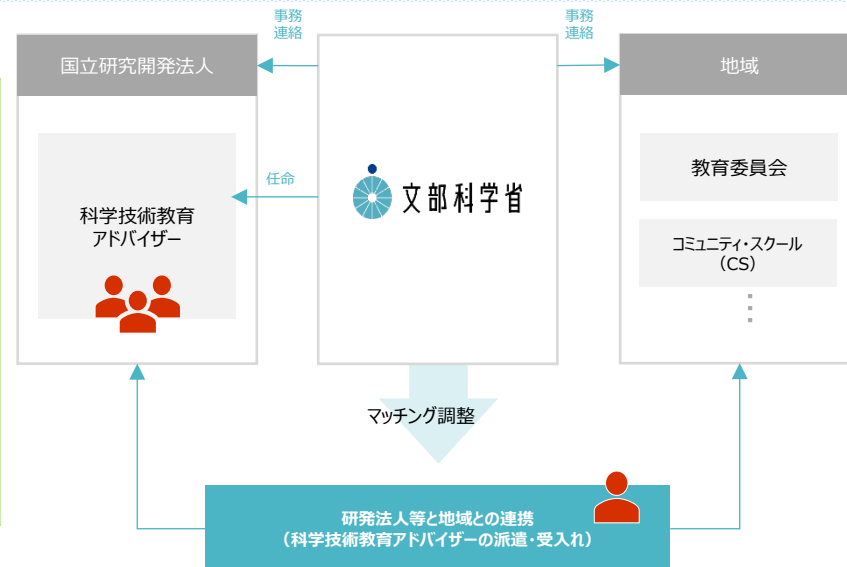


文部科学省

科学技術教育アドバイザーについて

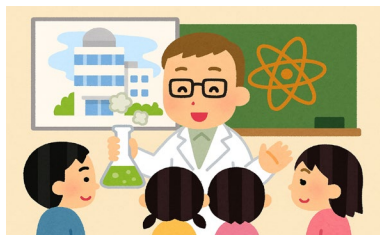
取組概要

- 1 STEAM教育の充実と科学技術分野の次世代人材育成を目的とし、令和7年度より新たに科学技術教育アドバイザーの任命制度を開始。
- 2 文部科学省が国立研究開発法人等の研究者（OB含む）を科学技術教育アドバイザーとして任命（令和8年4月現在、10機関より計15名）。
- 3 科学技術教育アドバイザーには、研究法人等の広報・アウトリーチ活動の一環として、各地域のコミュニティ・スクール（CS）等と連携して、地域の要望を踏まえ、自らの専門性を活かしたSTEAM教育推進の取組や助言、支援を実施いただく。【活用例（想定）：下記】
- 4 科学技術教育アドバイザーと地域のマッチングについて、文部科学省からも必要な連絡調整等を支援。



活用例（想定）

出前授業等の実施



自身や研究開発法人の専門性を活かし、実験やデモンストレーション等の出前授業や学校での講演会などを実施。

（例）

- ・授業単元に関連する最先端研究の紹介
- ・実験のデモンストレーション、講演会研究施設の見学 等

学校等への助言



学校や地域が取り組む理科教育や探究・STEAM教育の取組について、学校等の要望を踏まえ、専門的知見を踏まえた助言等を行う。

（例）

- ・学校運営協議会への参画
- ・地域の理科教員の相談に応える 等

STEAM教育に資するイベント等の実施



地域におけるイベントへの参画や、研究開発法人の施設公開等の際のイベントなどで、STEAM教育や科学技術への興味関心の喚起に資する活動を実施。

（例）

- ・地域のイベントへ法人ブースを出展しSTEAM教育関連のワークショップや少人数講演会を実施
- ・研究開発法人の一日公開で親子向けの解説を実施 等

令和8年度 科学技術教育アドバイザー



小森 和範氏

物質・材料研究機構
国際・広報部門広報室・主幹エンジニア

- ・材料工学（専門は高温超伝導材料。材料物性・合成化学について、金属・無機材料から高分子や生体材料も対応可能。）
- ・電磁気学（磁石や光材料など機能性材料を使った実験など）



李 泰榮氏

防災科学技術研究所
社会防災研究領域災害過程
研究部門・主任研究員

- 社会システム工学、自然災害科学
- ・科学的な防災情報を用いた地域の災害リスクの評価
- ・災害時に備えた適切な防災行動の判断（意思決定プロセス）
- ・ICTを活用した地域と学校が協力した防災力強化の取り組み



上田 啓瑚氏

防災科学技術研究所
社会防災研究領域総合防災
情報センター・特別研究員

防災教育、学校安全、地域防災、防災を通じた探究学習



池田 佳隆氏

量子科学技術研究開発機構
QSTアソシエイト

フュージョンエネルギーに係る基礎から応用までの講演や講義



加道 雅孝氏

量子科学技術研究開発機構
NanoTerasu総括事務局・
広報グループリーダー

レーザーや放射光などの光全般・基礎から応用までの講演や講義



橋本 雅史氏

量子科学技術研究開発機構
関西光量子科学研究所・
主任研究員（ふぉとん館長）

基礎化学・物理分野
（修士号取得後は、真空中における高温蒸気中の分子特性、真空中への分子ビーム形成、同位体選択的な気体分子の光分解に係る研究等に従事）



河野 弘幸氏

理化学研究所
広報部・主事

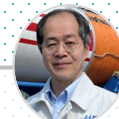
化学、物理学、生物学



高橋 涼香氏

理化学研究所
生命機能科学研究センター・
高度研究支援専門職

生物学、生命科学、分子生物学、免疫学



谷垣 文章氏

宇宙航空研究開発機構
宇宙教育センター・センター長

宇宙航空の研究開発の成果や知見を素材として活用した初等中等教育を主な対象とした教育支援活動。



市原 盛雄氏

海洋研究開発機構
事業推進部海洋STEAM推進課・課長

- ・海洋地球分野に関するSTEAM教材の制作
- ・地方公共団体と連携した学校教育現場への実装
- ・地域コミュニティや社会教育施設と連携した海洋STEAM教育の実践



鈴木 國弘氏

日本原子力研究開発機構
総務部広報課・広報コーディネーター

原子力、放射線（概要、利用関係）、量子ビーム利用、わかりやすい説明の仕方やプレゼンテーション方法



宮村 浩子氏

日本原子力研究開発機構
原子力人材育成・核不拡散・
核セキュリティ総合支援センター
戦略調整室・技術主幹

計算科学、情報科学、原子力



常田 佐久氏

自然科学研究機構
共創戦略統括本部・特任教授

天文学、宇宙科学・工学、科学技術



青木 優美氏

高エネルギー加速器研究機構
広報室・特別技術専門職

物理、化学



熊谷 宏靖氏

情報・システム研究機構
国立極地研究所広報室・室長

- ・極域科学に係る教育活動
- ・南極観測事業及び北極域研究プロジェクトに係る教育活動

科学技術教育アドバイザーによる 支援の実施について

探究・STEAM 教育の充実と科学技術分野の次世代人材育成を目的として
「科学技術教育アドバイザー」が支援を行います！

申込



「科学技術教育アドバイザー支援申込フォーム」に必要事項を入力。

支援申込フォーム：

▶ <https://forms.cloud.microsoft/r/t4u7R7U3UU>

申込者

打診



申込内容をもとに、文部科学省が
科学技術教育アドバイザーへ対応可否を確認。

文部科学省

調整



申込者と科学技術教育アドバイザーが直接連絡を取り、
実施内容や日時、方法等の詳細を調整。

※謝金や旅費等の取扱いについても要調整

アドバイザー

申込者

実施



科学技術教育アドバイザーが現地に赴き、
出前授業や指導・助言等を実施。

アドバイザー

「サイエンsteam※」での記事化に向け、
JSTによる取材を実施する可能性あり。

サイエンsteam：

▶ <https://scienceteam.jst.go.jp/>

※国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が運営する
STEAM教育特設サイト

報告



支援終了後、2週間以内に下記フォームより報告。

支援終了後報告フォーム：

▶ <https://forms.cloud.microsoft/r/AUzvNLUPxd>

申込者

■留意事項

※申込～実施まで：約2～4週間程度。

※科学技術教育アドバイザーの状況により、対応が難しい場合がございます。

※支援に必要な旅費・実験に係る材料費等は申込者負担となります。



文部科学省